

ナラ枯れの被害を防止しよう

～早期発見と予防にご協力お願いします～

近年、本州の日本海側を中心にナラ（コナラやミズナラなど）が集団で枯れる『ナラ枯れ』の被害が発生してします。

ナラ枯れの原因は、カシノナガキクイムシという昆虫が病原菌（ナラ菌）を運ぶことで、木を枯らす『伝染病』の一種であることが明らかになっています。

七ヶ宿町では、平成21年8月に初めて被害が発見されました。ナラ枯れ被害の拡大を食い止めるためには『被害木の早期発見と確実な駆除』が何よりも重要となっておりますので、ご協力をお願いします。

メス オス



カシノナガキクイムシ（全長約5mm）

『ナラ枯れ』の病原菌を運ぶ『カシノナガキクイムシ』とは？

体長5mmほどの小さな虫で、雌は菌を入れて運ぶための器官を持っています。

カシノナガキクイムシは木に穴をあけ、持ち込んだ菌を育てて、自分や子供の餌にしています。その時、ナラ枯れの病原菌も同時に持ち込まれます。

早期発見！『ナラ枯れ』の見分け方

- ◇紅葉シーズンでないのに葉の色が変わる
 - ◇木の種類は「コナラ・ミズナラ」
 - ◇太い木に被害が多い
 - ◇木の根元に細かい木屑がたまっている
 - ◇木の幹に直径1.5mm程度の穴が多数あいている
- これらの項目にあてはまる場合、『ナラ枯れ』の可能性がります。



カシノナガキクイムシがナラの木に侵入した穴

ナラ枯れの様子



平成21年8月28日撮影（干蒲）

◎カシノナガキクイムシの被害を防ぐには、被害木の早期発見が大変重要です。

『ナラ枯れのメカニズム』は裏面をご覧ください。

トピックス

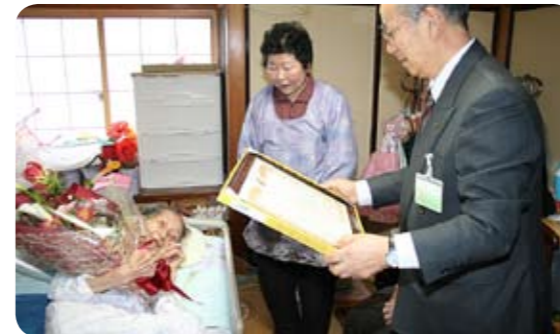
祝 100歳 おめでとう

湯原在住の松川久栄さんが、4月1日に満100歳の誕生日を迎えられ、町長が自宅を訪問し、花束や特別敬老祝い金などを送りました。

久栄さんは明治43年4月1日生まれですが、現在は8人の大家族に囲まれながら、和やかに生活しています。

当日は、ご家族、特に玄孫（やしゃご）さんの元気な声とともに、にぎやかに誕生日を祝っていました。

これからも健康で、長生きしていただきたいと思います。



みんな真剣！関小学校交通教室

関小学校で交通教室の授業が行われました。当日は、3年生から6年生までの32名が、真剣な表情で校庭に設けられた交差点を自転車に乗って、交通ルールを学んでおりました。

授業の最後に、生徒を代表し木村朝陽君が誓いの言葉を述べ、『交通ルール』の意識を持つ決意をしました。



七ヶ宿町食生活改善推進部が「元気！健康フェア！健康大賞」を受賞！

県内85事業の応募の中から、第1次選考・2次選考を経て、七ヶ宿町食生活改善推進部が主催している「男子厨房に入ろう会」が健康大賞を受賞しました。

約半年間、65歳以上の男性が料理や健康づくりの学習を行い、自立した生活が送れるよう支援しています。おめでとうございます。



水芭蕉群生地オープン式

水芭蕉群生地オープン式が4月9日、七ヶ宿町の玉の木原水芭蕉群生地で行われました。今年は例年よりも肌寒い日が続き、オープン式当日は水芭蕉の咲き誇る姿は見る事が出来ませんでした。町内の雪解けとともに美しい花が開きはじまりました。七ヶ宿町の水芭蕉群生地は35haの敷地いっぱいに10万株の水芭蕉が春の訪れを知らせてくれます。

